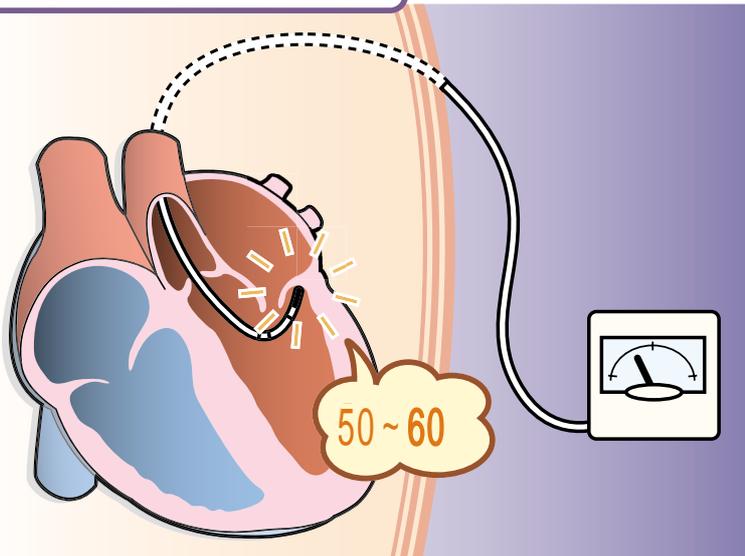


心臓内のカテーテルアブレーション



アブレーション治療とは

心臓は規則的な収縮と弛緩を繰り返すことにより、全身に血液を送り出しています。この規則的な拍動は電気的な刺激によって起こります。この電気を発生させる場所(洞結節)や電気的興奮が伝わる伝導路などに異常があると、心臓の拍動リズムが不規則になり、

これを不整脈といいます。不整脈には脈が異常に速くなる頻脈、遅くなる徐脈、脈がとぶ期外収縮などがあります。不整脈の種類によっては、治療が必要ですが、治療が必要でない味言葉です。

とは

WPW症候群などには90%以上の成功率

90%



アブレーション治療が効果的な頻脈性不整脈の一つにウォルフ・パーキンソン・ホワイト症候群(WPW症候群)があります。電気的興奮が正常な伝導路と副伝導路の間をグルグルと巡回してしまい、突然激

副伝導路を持つている人がいます。普段は支障ないのですが、何かのきっかけで電気的興奮が正常な伝導路と副伝導路の間をグルグルと巡回してしまい、突然激

しい動悸に襲われます。アブレーション治療により余分な興奮を伝える副伝導路を絶つことで治療可能です。アブレーション治療はそのほか、房室結節リエントリー頻拍や心房粗動といわれる上室性不整脈、また他に心疾患がない場合の心室頻拍などに効果がありません。これらの不整脈治療では90%以上の成功率をあげています。

不整脈の治療には薬物療法と非薬物療法(手術など)がありますが、近年、頻脈に対する非薬物療法として、アブレーション治療は、カテーテルを足の付け根の血管から挿入し、その先端を血管内を通して心臓まで送り込み、心筋の異常な部位のみを高周波電流で50〜60度に熱することにより不整脈が発生しなくなるようにします。手術に比べ、患者さんの身体に対する負担が少なく、不整脈を根治できることが特徴です。

心房細動などにも適応が広がる

最近、心房が不規則に非常に細かく興奮する心房細動にもアブレーション治療が行われるようになり、治療成功率は現在50%といわれています。

アブレーションと抗不整脈薬の医療費の比較

WPW症候群の頻拍発作の治療費は、抗不整脈薬とアブレーションのどちらが高いでしょうか？短期的にはアブレーションのほうが治療費が高くなりますが、抗不整脈薬を四〜五年以上服用する



と、こちらのほうが累積治療費は高くなっています。

日本心臓財団より

日本心臓財団は、わが国三大死因のうちの心臓病と脳卒中の制圧を目指して、一九七一年に発足いたしました。当財団は、研究に対する助成や予防啓発、また世界心臓連合加盟団体としての諸活動を通して、心臓血管病の予防・制圧に努めております。当財団は皆様のご寄付により運営されています。どうぞ皆様のご協力をお願い申し上げます。

財団法人 日本心臓財団
〒一五五 東京都千代田区丸の内三三四一 新国際ビル
電話 三三三三 一七八
ホームページ・アドレス <http://www.jhf.or.jp/>